

# 介護老人保健施設における高齢者を適応へ導くための看護師の 視座

How to lead old people to better adapt themselves to the environments in a nursing home  
—from a nurse's perspective—

山田 由紀

YAMADA YUKI

立命館大学大学院応用人間科学研究科

Graduate School for science of Human Services Ritsumeikan University

key words : 介護老人保健施設, 適応, 視座,

## 目的

介護老人保健施設に従事する看護師が、入所されている高齢者に対し、療養生活を適応へ導くための看護師の視座を検証することを目的とする。

## 方法

分析方法：質的帰納法

データ収集：半構造化面接にて個別面接を施行した。

研究参加者：介護老人保健施設に3年以上勤務している看護師10名。

データ分析：面接にて得られたデータを逐語化し、意味内容ごとに単位化を作成した。分類された項目から同質的なものに着眼し、意味内容ごとに一行見出しをつけ、要約分析した。一行見出しをつけたものをさらに圧縮し、最小になるまで統合化を図った。

## 結果

統合の結果、上位カテゴリ6個、サブカテゴリ18個が抽出された。上位カテゴリとして、【多角的な看護実践評価】【高齢者の機能に沿った生活環境の確保】【高齢者の潜在力の発揮を促す】【高齢者の固有性を尊重する】【他職種間との協同連携体制の構築】【実践を通じて超越した成果を育む】が抽出された。

## 考察

高齢者に対し、適応へ導くために看護師は、介護

老人保健施設での役割や機能の基、加齢変化や加齢過程に伴い、発生する事態や状況に対し、様々な方略を駆使していることが明らかになった。Havighurstは、高齢期に必要な適応で、体力と健康への衰退を挙げており、高齢者の多くが慢性的な病的状態に適応していかなければならないと述べている。

本研究では、カテゴリ間の図解化をしたものを説明し、介護老人保健施設で求められる看護師の実践知、高齢者支援における人間的ケアに分け、看護師の視座を考察していた。

## 文献検討

Havighurst, RJ 著, 児玉憲典, 飯塚裕子各訳: バビガースとの発達課題と教育—生涯発達人間形成, 川島書店 1997, 1-10, 159-170.

小玉敏江, 亀井智子: 高齢者看護, 中央出版, 2007.

小野幸子: 高齢者の自我発達を促進する援助の構造に関する研究, 岐阜県看護大学 研究機関番号, 23702 2004.

下仲順子編: 現代心理学シリーズ 14, 老年心理学, 培風館, 2005, 140 - 149.

高崎絹子他: 最新老年看護学, 日本看護協会出版会, 2006. 356-358.

下仲順子編: 現代心理学シリーズ 14 老年心理学, 培風館, 2005, 140 - 149.